

### 1) 運営委員会報告

昭和54年5月8日、午後5時30分より8時30分まで東京大学天文学教室において開催。

出席者：田中、森本、海部、平林、会津、川尻、小川、石黒（以上運営委員）  
磯部、井上、福井、稻谷、浮田、長谷川、大師堂、面高、柿沼、  
河嶋、祖父江。

#### 議題

1. 宇電懇の運営体制について（会費値上げ問題）
2. 大型宇宙電波望遠鏡建設への宇電懇のかかわり方
3. 中枢研設立にかかる諸問題について
4. 昭和54年度のシンポジウム立案
5. 井口基金について

#### (1) 運営体制

◎シンポジウムを年2回行うようになって科研費だけでは集録代の全部をまかないきれなくなったので、宇電懇会費より援助することを認めた。これについて会費の値上げが提案されたが、宇電懇ニュースの発行を現状程度とすればまだ少し余裕があるので、本年度は会費値上げを見送る事にした。

◎運営委員会をもっと活発にすべきであるとの意見が出たが、そのためには委員会の回数を多くする必要があり委員の旅費の問題もあるので会費値上げを考慮しつつ更に検討を加えることとした。

◎宇電懇創立10周年になるので色々反省する時期に来ており、太陽電波の事も電波天文として積極的に考えてゆかなければならぬのではないかとの意見が出た。

◎メンバーシップを明確にする。今後公の組織と対応してゆくときに、関連する「研究者」の集団という会の性格をはっきりさせる必要がある。このため入会申込の書式を決め、委員長がチェックすることとした。

#### (2) 電波望遠鏡建設

◎昭和54年2月2日に大型宇宙電波望遠鏡連絡協議会が開かれ、協議会の今後の方針について以下のような点が指摘されたと報告があった。

1. 具体的人事には触れないが、人員配置等については要望が出せる。
2. 細かい事は観測所で行い、協議会としてはもっと根本的な事を議論する。
3. 専門委員会は必要になったら作る。しかし当面は今のまます。
4. 建設にたずさわるOD、大学院生の問題を検討する。

◎連絡協議会委員を通じて宇電懇の意見を反映させる為に、「協議会の前に必ず宇電懇運営委員会を開催すること」、「宇電懇としては全国的視野に立った議論をすること」などの意見が出た。

#### (3) 中枢研

◎中枢研（仮称：宇宙科学研究所）の設立が具体的に討議されている段階で、宇電懇としてはこれに何を期待するか、近く（6月ごろ）ワーキング・グ

ループを開いて懇談することとなった。例えばスペースでの電波天文観測としては将来何が考えられるかを早急に議論してまとめる。直ちに思いついたテーマとして、

1. 短波長観測---ミリ波、サブミリ波、赤外
2. 長波長観測---ヘクトメートル波、キロメートル波
3. 軌道V L B I
4. S E T I (地球外文明の探索)
5. 天文データ通信衛星

が出された。

#### (4) シンポジウム

◎前回のシンポで話題に上ったテーマは、

1. Inner Region of Galaxies (Activityを含む)
2. 变な星 (パルサー、ブラックホール等)

で、希望としては1.の方が多かった。

◎装置・観測法に関するシンポを冬、野辺山で開催する。

以上の2点について、宇電懇総会へ諮ることにした。

#### (5) 井口基金

◎50万円でスタートして、前年度は半年分 / 8万円を2名に支給。その後海部、会津両氏よりそれぞれ10万円の寄付があり、現在339400円 (振込料として600円支出、利息は含まず) となっている。

◎本年度の選考手続きが遅れているが、早急に募集し6月上旬に決定し、4月にさかのぼって支給する。なお / 名支給としても赤字となるので、会員諸氏からカンパを募ることとした。選考については前回の方法と同じ。

### 2) 宇電懇総会報告

昭和54年5月10日、午後0時30分より / 時 / 0分まで年会会場にて開催。

議題 1. 事務局報告

2. 運営委員会報告

3. 大型宇宙電波望遠鏡建設状況報告 (年会予稿集No. 88, 89参照)

4. 昭和54年度シンポジウム

◎「Inner Region of Galaxies」(他に銀河関係のシンポが予定されているので内容は調整)、世話人未定、コンタクト役: 海部宣男。

◎「電波線スペクトル」(装置、観測)、世話人: 中島弘。

5. 井口基金

### 3) 井口基金希望者募集のお知らせ

1. 募集人員: / 名

2. 応募資格: 電波天文学を研究しているODで、公的な財政援助の無い人。

3. 支給期間、支給額: 昭和54年4月より昭和55年3月まで。3万円/月。

4. 返還義務: 無し

5. 応募方法: 本人の履歴書、現状に関する簡単な説明書を添付して下記に申し込みこと。 〒442 豊川市穂ノ原3-1/3 名古屋大学空電研究所  
宇電懇事務局 石黒正人

6. メ切: 昭和54年5月3 / 日